

令和6年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	2年 社会科（地理的分野）	観点別学習状況 評価の観点	観点番号
		知識・技能	1
		思考・判断・表現	2
		主体的に学習に取り組む態度	3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4月	世界の諸地域	北アメリカ州	5	<<指導内容>> 世界をリードし続けているアメリカ合衆国を中心に、民族の多様性や広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業を理解し、北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に考察することができる。 <<主な評価規準>> ① 世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解する。 ② 北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。 ③ 世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。		①社会科における基礎的・基本的な知識・技能が定着しているかを、評価する。 (小テスト、定期試験等) ②社会的事象に対して、自分の考え方をまとめ、表現できるかを評価する。 (授業の課題、定期試験等) ③社会的事象に対して、主体的に追究できるかを評価する。 (授業の課題、グループ活動への取り組み等)
		南アメリカ州	4	<<指導内容>> 他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州の暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。 <<主な評価規準>> ① 多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。 ② 近年の躊躇なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ③ 多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。		
5月	日本の姿	世界の姿	5	<<指導内容>> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付ける。 <<主な評価規準>> ① 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ② 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。	① ② ③	
		日本の地域的特色	12	<<指導内容>> 日本の自然環境や人口、産業の特色を理解し、現状や変化、人々の生活に及ぼす影響、課題を考える。 <<評価規準>> ① 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解し、日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 ② 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。		
6月	日本の姿	世界の姿	5	<<指導内容>> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付ける。 <<主な評価規準>> ① 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ② 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。	① ② ③	
		日本の地域的特色	12	<<指導内容>> 日本の自然環境や人口、産業の特色を理解し、現状や変化、人々の生活に及ぼす影響、課題を考える。 <<評価規準>> ① 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解し、日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 ② 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。		
7月	日本の姿	世界の姿	5	<<指導内容>> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付ける。 <<主な評価規準>> ① 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ② 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。	① ② ③	
		日本の地域的特色	12	<<指導内容>> 日本の自然環境や人口、産業の特色を理解し、現状や変化、人々の生活に及ぼす影響、課題を考える。 <<評価規準>> ① 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解し、日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 ② 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。		
8月	日本の諸地域	九州地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
		中国・四国地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
9月	日本の諸地域	九州地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
		中国・四国地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
10月	日本の諸地域	九州地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
		中国・四国地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
10月	日本の諸地域	九州地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
		中国・四国地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
10月	日本の諸地域	九州地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
		中国・四国地方	5	<<指導内容>> 各地方について、自然環境、人口、資源、産業、地域間の結びつきなどの特色を捉える。また、人々の暮らしや歴史的な背景などを理解し、地域の特色による影響、課題、対策を考えることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 日本の諸地域について、七つの視点に注目した考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ② 日本の諸地域の地域的特色を七つの視点に注目しながら、その過程や結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		

11月		中部地方	5			
12月		関東地方	6			
1月		東北地方	5			
2月		北海道地方	5			
2月	身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマを決めよう ・調査方法を考えよう ・野外調査を実行しよう ・調査を深めて結果を発表しよう 	5	<<指導内容>> 市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ② 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		
3月	地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握しよう ・地域をとらえよう ・課題の要因を考察しよう ・課題の解決に向けて構想しよう ・構想の成果を発信しよう 	3	<<指導内容>> 空間的相互依存作用、地域などに関わる視点に着目して、地域の在り方を地域的特色や地域の課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるよう指導する。 <<評価基準>> ① 地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ② 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。		